

令和5年7月教育委員会議定例会 議事日程

日 時 令和5年7月21日(金)  
午前9時30分より  
場 所 町民センター 2Aクラブ室

- 1 開会宣言
- 2 署名委員の指名
- 3 教育長事務報告
- 4 付議事項
  - (1) 議案第5号 令和6年度小学校使用教科用図書採択について
  - (2) 議案第6号 令和6年度中学校使用教科用図書採択について
  - (3) 議案第7号 令和6年度小・中学校使用学校教育法附則第9条による教科用図書採択について
  - (4) 議案第8号 体育施設の設置、管理等に関する条例の一部を改正する条例について
- 5 報告・協議事項
  - (1) 令和5年度二宮町教育委員会点検及び評価報告書(令和4年度事業分)について 資料 No. 1
  - (2) 20歳のつどいについて 資料 No. 2
  - (3) その他

\* 次回教育委員会議予定

- 6 閉会宣言



令和5年7月定例教育委員会議 教育長事務報告

(R5.6.30~R5.7.20)

月	日	曜日	内 容
6	30	金	山西プール開設式
			定例教育委員会議
			教育委員学校訪問（二宮西中学校）
7	2	日	二宮町教友会総会
7	3	月	小中学校校長会
7	4	火	政策会議
			いじめ問題対策連絡協議会
7	5	水	学校運営協議会長情報交換会
			平塚税務署長・副署長離任あいさつ
7	6	木	小中学校教頭会
7	7	金	教科書用図書採択検討委員会
7	10	月	JICA 表敬訪問（古澤教諭の海外派遣）
7	11	火	山西プール施設訪問
7	12	水	二宮町防災会議
			平塚税務署長着任あいさつ
7	14	金	学校給食（地場産デー）の試食（二宮小学校）
			社会教育委員会議
7	18	火	政策会議



## 7月政策会議結果報告

令和5年7月4日（火）開催分

### 【町長あいさつ】

地域の通いの場など高齢者が集う場を活用して、各課の情報を分かりやすく提供するように努めること。

### 【主な付議案件】

- 1 令和6年度予算編成スケジュール（案）について（政策部）
  - ・予算編成会議を8月31日（木）に実施し、予算見積明細書の提出期限を10月24日（火）とした。また、一次査定、二次査定を経て予算内示は翌年の1月19日（金）とする計画。
- 2 「町への提案」について（教育部）
  - ・大磯町など給食費の無償化が始まっているが二宮町は何故、一部無償化なのでしょうか
  - 『昨年度より給食費の段階的な無償化について検討を行っているところです。また、二宮町では中学校までの完全給食を約50年前から実施し、大変好評を得ています。持続可能な取り組みにつなげるため精査していきますので、ご理解をお願いします。』

### 【情報交換】

- 車検切れ再発防止策について<政策部>
- シルバー人材センター事務費の改定について（インボイス制度開始に伴う）<健康福祉部>

令和5年7月18日（火）開催分

### 【町長あいさつ】

連日、猛暑が続いているため、特に、勤務で外出する際は熱中症対策を行い、体調管理に気をつけること。

### 【主な付議案件】

- 1 地域集会施設の名称等の統一化について（政策部）
  - ・まずは、令和5年度中に、老人憩の家、児童館、公会堂は、地域集会施設として運用されていることから、現行の各条例を廃止し、新たに地

域集会施設条例を制定する（この時点では、名称を統一しません）。

- ・令和7年度以降にすべての地域集会施設を統一化することを目指し、今年度から地区長連絡協議会と協議を行っていく計画。
- ・なお、防災コミュニティーセンターについては、地区の管理に向けた協議を開始する。

**【情報交換】**

- 特になし

## 教育総務課事業報告

事業報告

(令和5年6月30日～令和5年7月20日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	人数
6月30日	金	にのみや学園小学校英語教育研修会	一色小学校	15
7月3日	月	にのみや学園小・中学校校長会	二宮町役場	14
7月4日	火	いじめ問題対策連絡協議会	町民センター	15
7月5日	水	学校運営協議会会長情報交換会	町民センター	16
7月6日	木	にのみや学園教頭会	二宮町役場	14
7月11日	火	カリキュラムワーキンググループ研究授業(家庭科)	二宮中学校	6
7月18日	火	学校事務連携会議	町民センター	7
7月20日	木	にのみや学園小中学校終業式	-	-

事業予定

(令和5年7月21日～令和5年8月24日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	予定人数
7月27日	木	小中カリキュラムワーキンググループミーティング	代表者の所属校 町民センター	-
7月27日	木	二宮町教育講演会	ラディアン	-
7月31日	月	養護部会	一色小学校	5
7月31日	月	普通救命講習	消防署	12
7月31日	月	にのみや学園研究担当者会	オンライン	
8月1日	火	普通救命講習	消防署	12
8月3日	木	ICT活用指導力向上研修	オンライン 町民センター	120
8月16日	水	学校事務連携会議	町民センター	7
8月17日	木	道徳教育研修会(兼初任者研修会)	町民センター	3
8月18日	金	初任者研修会	町民センター	10
8月19日	土	インクルーシブ教育推進フォーラム	総合教育センター	-
8月22日	火	にのみや学園小・中学校校長会	二宮町役場	14
8月23日	水	普通救命講習	消防署	12
8月23日	水	にのみや学園幼・保・小研修会	町民センター	30

## 学校給食センター

事業報告

(令和5年6月30日～令和5年7月20日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	人数
7月14日	金	学校給食 地場産デー	二宮小学校	-
7月18日	火	小・中学校 1学期給食終了	-	-

事業予定

(令和5年7月21日～令和5年8月24日)

月日	曜日	主な会議・行事等	開催場所	予定人数
7月21日	金	給食担当者献立会議	給食センター	7



## 生涯学習課事業報告

(令和5年6月30日～7月20日)

月/日	曜日	会 議 ・ 行 事 等	開 催 場 所	定員	出席者/人数	担当班
6/30	金	山西プール開設式 ※7月1日より営業開始(8月31日まで)	山西プール	—	11人	スポーツ
6/30	金	放課後子ども教室 (山西小②)	山西小学校	181人	152人	学習
7/1	土	青少年指導員野外炊事等研修会	山西小学校	雨天のため中止		学習
7/3	月	放課後子ども教室 (一色小②)	一色小学校	181人	50人	学習
7/4	火	町民大学講座 「お塩と血管について学ぼう」	ミーティングルーム2	20人	17人	学習
7/6	木	「小・中学生にすすめたい本」発行	町内小中学生に配布、館内配布 ホームページ	—	—	図書館
7/7	金	放課後子ども教室 (山西小③)	山西小学校	181人	142人	学習
7/8	土	スポーツ推進委員ニュースポーツ体験会	ミーティングルーム2	中止		スポーツ
7/10	月	放課後子ども教室 (二宮小③・2, 4, 6年)	二宮小学校	107人	85人	学習
7/12	水	ちいちゃいおはなし会	図書館	10組	7組	図書館
7/14	金	社会教育委員会議	ミーティングルーム1	14人	14人	学習
7/14	金	放課後子ども教室 (山西小③)	山西小学校	中止		図書館
7/15	土	おはなし会	図書館	10組	22	図書館
7/15	土	洋上体験研修事前研修会	はだのこども館	9名	9名	学習

## 生涯学習課事業予定

(令和5年7月21日～8月24日)

月/日	曜日	会 議 ・ 行 事 等	開 催 場 所	開始時間	担当班
7/21	金	わらべうたであそぼう!	和室	10:00	図書館
7/23	日	スポーツ推進委員ニュースポーツ体験会	町立体育館	9:00	スポーツ
7/24	月	青少年問題協議会	町民センター	14:00	学習
7/25	火	図書館だよりPR版発行	町内回覧 ホームページ	—	図書館
7/26	水	文化祭実行委委員会	ミーティングルーム2	13:30	学習
7/26	水	ブックスタート	保健センター	13:30	図書館
8/1	火	インターンシップ受入 (星槎学園高等部 4人 8月4日(木)まで)	図書館	—	図書館
8/5	土	洋上体験研修 ～8/7(月)まで	新島ほか	—	学習
8/9	水	放課後子ども教室 (二宮小④、全学年、夏休み)	ラディアン	10:00	学習
8/9	水	ちいちゃいおはなし会	図書館	10:30	図書館
8/9	水	図書・雑誌リサイクルコーナー ～8/13(日)まで	展示ギャラリー1	—	図書館
8/11	金	町民大学講座「小梅とウクレレを奏しよう」 8/18(金)	ミーティングルーム2	14:00	学習
8/17	木	放課後子ども教室(3小学校合同) 午前 1, 3, 5年生 10時～ 午後 2, 4, 6年生 13時30分～	ラディアン	—	学習
8/18	金	わらべうたであそぼう!	和室	10:00	図書館
8/19	土	おはなし会	図書館	10:30	図書館
8/22	火	放課後子ども教室 (一色小③)	一色小学校	15:00	学習
8/22	火	放課後子ども教室 (二宮小④、全学年、夏休み)	ラディアン	13:30	学習



議案第5号

令和6年度小学校使用教科用図書採択について

令和5年7月21日提出

二宮町教育委員会  
教育長 森 英夫

〔提案理由〕

令和6年度使用教科用図書について、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律の規定に基づき、二宮町公立小学校における教科用図書を、種目ごとに1種を採択するため提案する。



令和6年度使用 小学校教科用図書

教科・種目		発行者	発行者の番号略称
国語	国語	光村図書出版株式会社	38 光村
	書写	光村図書出版株式会社	38 光村
社会	社会	教育出版株式会社	17 教出
	地図	株式会社帝国書院	46 帝国
算数	算数	株式会社新興出版社啓林館	61 啓林館
理科	理科	株式会社新興出版社啓林館	61 啓林館
生活	生活	東京書籍株式会社	2 東書
音楽	音楽	教育出版株式会社	17 教出
図画工作	図画工作	日本文教出版株式会社	116 日文
家庭	家庭	東京書籍株式会社	2 東書
体育	保健	株式会社 Gakken	224 学研
外国語	英語	光村図書出版株式会社	38 光村
特別の教科 道徳	道徳	東京書籍株式会社	2 東書



## 令和6年度使用教科用図書発行者・発行数一覧

### □小学校教科用図書発行者一覧

国 語	書 写	社 会	地 図	算 数
3者	3者	3者	2者	6者
東京書籍 教育出版 光村図書出版	東京書籍 教育出版 光村図書出版	東京書籍 教育出版 日本文教出版	東京書籍 帝国書院	東京書籍 大日本図書 学校図書 教育出版 新興出版社啓林館 日本文教出版

理 科	生 活	音 楽	図画工作	家 庭
6者	7者	2者	2者	2者
東京書籍 大日本図書 学校図書 教育出版 信州教育出版 新興出版社啓林館	東京書籍 大日本図書 学校図書 教育出版 信州教育出版 光村図書出版 新興出版社啓林館	教育出版 教育芸術社	開隆堂出版 日本文教出版	東京書籍 開隆堂出版

保 健	英 語	道 徳		
6者	6者	6者		
東京書籍 大日本図書 大修館書店 文教社 光文書院 Gakken	東京書籍 開隆堂出版 三省堂 教育出版 光村図書出版 新興出版社啓林館	東京書籍 教育出版 光村図書出版 日本文教出版 光文書院 Gakken		





令和5年5月22日議決

## 令和6年度二宮町立小学校及び中学校で使用する教科用図書の採択方針

二宮町教育委員会は、神奈川県教育委員会が定めた「令和6年度義務教育諸学校使用教科用図書採択方針」に則り、令和6年度に使用する教科用図書の採択方針を定める。

- 1 採択権者の責任において、公明・適正を期し、採択する。
- 2 各発行者が作成する「教科書編修趣意書」、神奈川県教育委員会の「教科用図書調査研究の結果」等を踏まえ、学習指導要領に基づいて調査研究し、二宮町教科用図書採択検討委員会の協議内容を参考にし、採択する。
- 3 学校、児童・生徒、地域等の特性を考慮して採択する。
- 4 小学校及び中学校の特別支援学級で使用する教科用図書については、学習指導要領に定められた各教科の目標や児童・生徒の発達の段階や障がいの状態及び特性に応じ、教育目標の達成上適切なものを採択する。



議案第6号

令和6年度中学校使用教科用図書採択について

令和5年7月21日提出

二宮町教育委員会  
教育長 森 英夫

〔提案理由〕

令和6年度使用教科用図書について、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律の規定に基づき、二宮町公立中学校における教科用図書を、種目ごとに1種を採択するため提案する。



令和3年度～令和6年度使用 中学校教科用図書

教科・種目		発行者	発行者の番号略称
国語	国語	光村図書出版	38 光村
	書写	光村図書出版	38 光村
社会	地理	帝国書院	46 帝国
	歴史	帝国書院	46 帝国
	公民	東京書籍	2 東書
	地図	帝国書院	46 帝国
数学	数学	新興出版社啓林館	61 啓林館
理科	理科	新興出版社啓林館	61 啓林館
音楽	一般	教育芸術社	27 教芸
	器楽	教育芸術社	27 教芸
美術	美術	光村図書出版	38 光村
保健体育	保健体育	学研教育みらい	224 学研
技術 家庭	技術	東京書籍	2 東書
	家庭	教育図書	6 教図
外国語	英語	光村図書出版	38 光村
特別の教科 道徳	道徳	東京書籍	2 東書



## 令和6年度使用教科用図書発行者・発行数一覧

### □ 中学校教科用図書発行者一覧

国 語 4者	国 語 (書 写) 4者	社 会 (地理の分野) 4者	社 会 (歴史の分野) 8者	社 会 (公民の分野) 6者	社 会 地 図 2者	数 学 7者
東京書籍 三省堂 教育出版 光村図書出版	東京書籍 三省堂 教育出版 光村図書出版	東京書籍 教育出版 帝国書院 日本文教出版	東京書籍 教育出版 帝国書院 山川出版社 日本文教出版 育鵬社 学び舎 自由社	東京書籍 教育出版 帝国書院 日本文教出版 自由社 育鵬社	東京書籍 帝国書院	東京書籍 大日本図書 学校図書 教育出版 新興出版社啓林館 数研出版 日本文教出版

理 科 5者	音 楽 (一 般) 2者	音 楽 (器楽合奏) 2者	美 術 3者	保健体育 4者	技術・家庭 (技術分野) 3者	家 庭 (家庭分野) 3者
東京書籍 大日本図書 学校図書 教育出版 新興出版社啓林館	教育出版 教育芸術社	教育出版 教育芸術社	開隆堂出版 光村図書出版 日本文教出版	東京書籍 大日本図書 大修館書店 学研教育みらい	東京書籍 教育図書 開隆堂出版	東京書籍 教育図書 開隆堂出版

外国語 (英 語) 6者	道 徳 7者
東京書籍 開隆堂出版 三省堂 教育出版 光村図書出版 新興出版社啓林館	東京書籍 教育出版 光村図書出版 日本文教出版 学研教育みらい 廣済堂あかつき 日本教科書





議案第 7 号

令和 6 年度小・中学校使用学校教育法附則第 9 条による教科用図書採択について

令和 5 年 7 月 2 1 日提出

二宮町教育委員会  
教育長 森 英夫

〔提案理由〕

学校教育法附則第 9 条の規定により、教科用図書の特例として、特別支援学級で使用する教科用図書は、子どもの障害や発達の状況に応じて使用できることから、一般図書一覧等の中から教科用図書を採択するために提案する。



○令和6年度 学校教育法附則第9条により使用する希望図書

小学校 国語

No.	図書名	発行者略称	図書コード
1	ゆっくり学ぶ子のためのこくご入門編1（改訂版）	同成社 20-5	B01
2	ゆっくり学ぶ子のためのこくご1（改訂版）「ひらがなのことば・文・文章の読み」	同成社 20-5	A01
3	ゆっくり学ぶ子もための「こくご」2（改訂版）	同成社 20-5	A02
4	ゆっくり学ぶ子のための「こくご」3（改訂版）	同成社 20-5	A03
5	ゆっくり学ぶ子のための国語4	同成社 20-5	A04
6	漢字の基礎を育てる形・音・意味ワークシート2 漢字の形・読み編	かがわ 56-13	523
7	書きかたカードカタカナ	くもん出版 08-1	515
8	小学ドリル国語3年生の言葉と文のきまり	くもん出版 08-1	589
9	こくご☆☆	文部科学省	

小学校 社会

No.	図書名	発行者略称	図書コード
1	マナーやルールがどんどんわかる！新装改訂版みぢかなマーク	ひかりのくに 27-1	003
2	にっぽんちず絵本	戸田デザイン 20-4	005
3	ドラえもんちずかん1 にっぽんちず	小学館 12-2	C01
4	子どものマナー図鑑（1）ふだんの生活のマナー	偕成社 06-1	Z01

小学校 算数

No.	図書名	発行者略称	図書コード
1	ゆっくり学ぶ子のためのさんすうドリルA 2けたまでのたしざんひきざん	同成社 20-5	503
2	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」1	同成社 20-5	C01
3	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」4	同成社 20-5	C04

4	ゆっくり学ぶ子のための「さんすう」5	同成社	20-5	C05
5	デコボコえほんかずをかぞえよう！	小学館	12-2	z01
6	グレーゾーンの子どもに対応した算数ワーク初級編2	明治図書	84-1	508
7	ゆっくりていねいに学べるどの子もわかる算数プリント3-1	喜楽研	57-22	543
8	さんすう☆☆(2)	文部科学省		

小学校 理科

No.	図書名	発行者略称	図書コード
1	改訂新版体験を広げるこどものずかん4 はなとやさい・くだもの	ひかりのくに 27-1	I04
2	こどものずかんMio9ひとのからだ	ひかりのくに 27-1	C09
3	絵本図鑑シリーズ12のはらのずかん一野の花と虫たちー	岩崎書店 02-1	F12

小学校 音楽

No.	図書名	発行者略称	図書コード
1	おととあそぼうシリーズ7 ドン！ドコ！ドン！たいこ	ポプラ 30-2	651

小学校 道徳

No.	図書名	発行者略称	図書コード
1	絵でわかるこどものせいかつずかん4 おつきあいのきほん	合同出版 10-8	B04
2	絵でわかるこどものせいかつずかん3 おでかけのきほん	合同出版 10-8	B03
3	こどもマナーとけいご絵じてん	三省堂 11-4	538

○令和6年度 学校教育法附則第9条により使用する希望図書

中学校 国語

No.	図書名	発行者略称	図書コード
1	くろくまくんのことばえほん なまえのことば	くもん出版 08-1	700
2	中級編 ジャンプアップ こくごⅡ	こばと 10-9	606
3	くらしに役立つ国語	東洋館 20-7	002
4	全問ヒントつきでニガテでも解ける中学国語読解	学研 06-2	626
5	国語習熟プリント小学校3年生大判サイズ	清風堂書店 64-2	508
6	国語習熟プリント小学校4年生大判サイズ	清風堂書店 64-2	509
7	国語習熟プリント小学校5年生大判サイズ	清風堂書店 64-2	510
8	国語習熟プリント小学校6年生大判サイズ	清風堂書店 64-2	511

中学校 国語（書写）

No.	図書名	発行者略称	図書コード
1	10分間書く力がつくプリント高学年4・5・6年	清風堂書店 64-2	521

中学校 社会(地理)

No.	図書名	発行者略称	図書コード
1	小学クイズと絵地図で世界の国々基礎丸わかり	増進堂 65-2	554

中学校 社会(歴史)

No.	図書名	発行者略称	図書コード
1	超ビジュアル！日本の歴史大事典	西東社 64-9	507

中学校 地図

No.	図書名	発行者略称	図書コード
1	書いて覚える都道府県令和版	小学館クリエイティブ 62-63	501

中学校 社会(地理・歴史・公民)

No.	図書名	発行者略称	図書コード
1	かばくん・くらしのえほん2 かばくんのおかいもの	あかね書房 01-1	H02

中学校 数学

No.	図書名	発行者略称	図書コード
1	ひとりで学べる算数小学4年生	朝日学生 51-35	502
2	ひとりで学べる算数小学5年生	朝日学生 51-35	511
3	中級編 ジャンプアップ さんすうII	こぼと 10-9	609
4	くらしに役立つ数学	東洋館 20-7	003
5	中学ひとつひとつわかりやすく中1 数学をひとつひとつわかりやすく。改	学研 06-2	692
6	陰山ドリル初級算数小学3年生	清風堂書店 64-2	547
7	陰山ドリル初級算数小学4年生	清風堂書店 64-2	548
8	ことばをおぼえる本 かず・かたち・いろ あいうえお	偕成社 06-1	A04

中学校 理科

No.	図書名	発行者略称	図書コード
1	やさしくわかる小学生の理科図鑑	成美堂出版 14-4	557
2	りかのこうさく1ねんせい	小峰書店 10-5	B01

中学校 外国語

No.	図書名	発行者略称	図書コード
1	ドラえもんはじめての英語図鑑	小学館 12-2	739
2	ドラえもんはじめての英会話辞典小学生のための英語表現集	小学館 12-2	776
3	小学えいご絵じてん800三訂版	旺文社 05-3	550
4	中学ひとつひとつわかりやすく中1 英語をひとつひとつわかりやすく。改	学研 06-02	698

No.	項目（重点施策・事業）	ページ数	意見者	意見内容	意見に対する対応	担当班
1	教育委員会の実施状況	24	岡野委員	【成果・課題】「…現状の課題を共有した。」の後に、「教育的課題、生涯学習課題、行政課題など多岐にわたって現状の課題を共有するとともに、その施策について議論した。」を追記したらどうかしら。	○ 反映済み（追加）	教育総務班
2	〃	24	岡野委員	【成果・課題】効率的な会議運営の部分は、会議前の工夫と会議後の工夫を具体的に書いた方がいいと思いました。例えば、「資料を事前に配布して…効率化するとともに、音声収録機材を充実させて聞き取り精度を高めることで議事録作成の迅速化をはかった」みたいな文面はどうかしら。	○ 反映済み（追加）	教育総務班
3	〃	24	岡野委員	【評価・所見】…共有と解消策…の文意がダブっています。「現状課題の共有」はもっと具体的に書きませんか？例えば「学力向上、ICT活用などの授業力向上、不登校、支援級運営などの教育支援力向上、部活動外部移行、超過勤務などの多忙化解消など、課題の現状を共有化し、その解消策を議論した」みたいな文面はどうかしら。	○ 反映済み（修正）	教育総務班
4	〃	24	藤原委員	昨年度と比べても遜色はないと思いますので評価が同じであること、また特別大きな改善点がないと考えられることから「A」が妥当と判断します。 とはいえ、教育委員会点検の評価項目としては必須とは思えない項目であり、令和5年度からは対象になっていないのは、良い議論ができていないという感想を持ちます。	修正不要	教育総務班
5	学校訪問等の活動	25	岡野委員	【成果】第一段落に書かれている給食試食の文面は最後に移動しませんか。	○ 反映済み（修正）	教育総務班
6	〃	25	岡野委員	【成果】「先生方の授業の様子や子どもたちの反応、教室環境や学校施設を実際に視察することで、学校現場の現状課題を実感することができ、それを踏まえた議論を進めることができた。」みたいな文面はどうかしら？	○ 反映済み（修正）	教育総務班

No.	項目（重点施策・事業）	ページ数	意見者	意見内容	意見に対する対応	担当班
7	〃	25	岡野委員	【成果・課題】「他の市町村の教育委員との交流を通じて、二宮町の現状を俯瞰することができた。二宮町が目目されるポイントと他から見習うべきポイントも把握することができた。」	○ 反映済み（修正）	教育総務班
8	〃	25	藤原委員	昨年度と比べての評価は上と同じであり「A」は妥当と判断します。 しかし「S」があったら「S」ではないと思います。1年に1度の場合であることを是とするのか（校長とだけでもいいから複数回にするとか）、1度の場合をもう少し議論が活発になるようにするとか（事前に質問を投げておくとか）、の工夫が必要と思う（西中は終わってしまったが、今年度からやるべきではないか）	学校訪問については、これから教育委員から事前に質問を集約し、その点を含めて学校から説明を行ってもらうなどの工夫を行っていく。	指導班 （教育総務班）
9	1 児童・生徒の「生きる力」の育成 (1)自ら学ぶ力を養うための教育の推進	28,29	藤原委員	英検の結果が記載の内容では原因がわからない。原因がわからないと対策が打てない。コロナが関係あるのかどうかなど分析があって今年度の対策が計画されるべき。 上記英語の原因がわかっているとして、それがコロナなどの外部要因だった場合には、①、③が大きく伸びており「A」評価でも良いと思う。③は慣れてきているのだと思うので理由は追わなくて良いが、①の理由は把握しておきたく、記載のような取り組みの結果だという実感が現場の先生方にもあるとすれば、とても良い結果であり良い報告だと思う。 英語低下の理由が外部要因によるのであればA評価で良いのではないか	○ 反映済み（修正）	指導班
10	〃	29	岡野委員	【成果・課題】②英検 3 級取得が指標化されているにもかかわらず、この成果欄にコメントがありません。また、原案で書かれている文意も明確に読み取ることができませんでした。ここでは 2 級以上のことをコメントする必要はないと感じました。書くのであれば【課題】に移動しませんか？		指導班
11	〃	29	岡野委員	以下の項目について追加してはどうか。 【成果・課題】④ICT活用を推進する中で道徳との連携の視点で情報モラルの向上に取り組んだ。社会科見学や修学旅行では、公共交通機関の利用や市街地散策の場面で、公共モラルを意識した行動規範向上に取り組んだ。	○ 反映済み（修正） R4 情報モラル教材の導入	指導班
12	〃	29	岡野委員	以下の項目について追加してはどうか。 【成果・課題】⑤体力調査で課題となった体力低下の課題に対して、小中乗り入れ授業を通じて、マット運動の楽しさや達成感を体感できる授業を推進できた。また、体力向上と水難に対する自己防衛の視点が必要である一方で、温水プール施設運営の現状から、水泳授業が当面の課題となることを議論した。	○ 反映済み（追加）	指導班



No.	項目（重点施策・事業）	ページ数	意見者	意見内容	意見に対する対応	担当班
13	〃	29	岡野委員	【課題】①「手引き3の作成」を具体的に記述しませんか？具体的な説明がないと、吉原先生の手立てをご存じない学校外の方にはまったく伝わらないと思います。あるいは「手引き3の作成」の文言は書かなくてもいいかも知れません。	○ 反映済み（削除）	指導班
14	〃	29	岡野委員	【課題】③「…町全体として…」の文言は不要だと思いました。「ICT利活用の頻度向上と活用成果を共有化する仕組み作りが必要」の記述が必要だと感じました。	○ 反映済み（削除）	指導班
15	〃	29	岡野委員	【課題】③ICT利活用の課題は次の二つだと思いました。 ・教育面＝ICT利活用による授業力向上とその成果の共有、情報モラル教育の質的向上 ・行政面＝端末更新の予算獲得、安定運用を支える人材確保	○ 反映済み（追加） ※ 教育面については、文案の中に意味が包含されているため、行政面の意味を追加。	指導班
16	2 すべての児童生徒が安心して学べる 教育環境の整備 (1)支援が必要な児童生徒への対応の充実	30	野谷委員	SC、SSW スクールソーシャルワーカー表記が不統一。 冒頭でSC(スクールカウンセラー)SSW (スクールソーシャルワーカー)とし、あとはSC、SSWの表現にしたかどうか。	○ 反映済み（修正）	指導班
17	〃	30	藤原委員	不登校率が上がっていることは気になるが、傾向として受け止めるしかない部分もあると思う。それが結果として「B」評価になることは妥当。 令和5年度のKPIでも見られていないが、不登校になった子供達へのICTによる教材提供の効果は測定したい。不登校になっても教育が届いていれば義務教育としては提供できていることになるため、この測定を考える必要があると思う。	○ 反映済み（修正）	指導班
18	〃	30	岡野委員	【成果・課題】①「…学校の中で継続的に…システム」の「システム」を具体的に書きませんか？ 「…継続的に実施していくための学校間連携、フリースクール連携などを強化することができた」みたいな文面はどうかしら？	○ 反映済み（修正） ※ 該当箇所がヤングケアラーを中心とした内容であったため、該当のシステムの流れを記載した。	指導班

No.	項目（重点施策・事業）	ページ数	意見者	意見内容	意見に対する対応	担当班
19	〃	31	岡野委員	【課題】①②に書かれている文面には「居場所」のことが二つにまたがって書かれています。端的に次の四つに分けて書きませんか？ ・不登校が増加傾向していること ・SSWなどの人材確保が必要なこと ・居場所作りが求められていること ・多言語対応が必要であること	○ 反映済み（修正） ※ 構成を組み換える中で、全体的に表現を修正した。	指導班
20	〃	31	野谷委員	支援教育支援員のニーズの <b>視覚化を図り</b> ⇒どういう意味か？		指導班
21	2 すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備 (2) 教職員の働き方改革の推進	31 32	岡野委員	公立学校の教師の勤務時間の上限に関するガイドライン ○上限の目安時間 ① 1か月の在校等時間について、超過勤務4 5時間以内 ② 1年間の在校等時間について、超過勤務3 6 0時間以内の捉え方だが 23年7月5日富山地裁「中学教員過労死裁判」(安全配慮義務違反)の例のように「平均」でこれを下回ればよいというものでなく、「これを超える教員何人、無理なら何パーセントいるか」というとらえ方ではないか。(限りなく0を目指す) *今回は平均でよいが今後捉え方を変えるべきではないか	委員のおっしゃるとおり、この指標だけでは進捗を図ることは難しいため、新たに作成した教育方針の中では、今回の指標に加えて、高ストレス者の割合を設定し、複数の指標により進捗をみることにした。今後は、時間と精神的指標を比較しながら、進捗を図っていく。	教育総務班
22	〃	31,32	藤原委員	30時間/月超過を目標にしつつ、中学校が60時間というのは、目標設定として無理があると言わざるを得ない（令和5年度のは5年間で30時間減なのでまだ現実的に見える）。「B」は妥当。このまま努力を継続しても決して解決しないと思われ、考え方を必要とする。時間が問題というよりも精神的な負荷、肉体的な負荷が問題ではないか。その測定を検討してはどうか。		教育総務班
23	2 すべての児童生徒が安心して学べる 教育環境の整備 (3)教職員の指導力の向上	33	藤原委員	対話を重視した教え方に変わってきている結果だと思う。高評価であり「A」は妥当。予算が大幅に減になっている理由について教えてほしい。	令和4年度に組織改編を行い、教育研究所の業務を指導班に移管したことにより、教育研究所に配置した会計年度任用職員の人件費が減となったため、令和3年度と比較し金額が減となった。	指導班
24	〃	33	岡野委員	【評価・所見】「話し合いの授業が中学校にも浸透してきた」の部分は、具体的にどんなことが変わったかを記載できませんか？	○ 反映済み（修正）	指導班

No.	項目（重点施策・事業）	ページ数	意見者	意見内容	意見に対する対応	担当班
25	〃	33	岡野委員	【評価・所見】「社会的ニーズ」は、具体的に記載できませんか？	○ 反映済み（修正）	指導班
26	2 すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備 (4) 児童生徒の学習環境の整備	34	藤原委員	対応が進んでおり「A」は妥当。予算増額できていることを達成要因として評価してしまうと予算額が増え続けてしまうため、計画通りの進捗であったかどうかで判断することを徹底したい。	修正不要	施設担当
27	〃	34	岡野委員	【課題】「安全面からみた予防修繕の優先度を上げざるを得なかった」、「マンパワーもそこに注力せざるを得なかった」という表現で記載できませんか？	○ 反映済み（修正）	施設担当
28	〃	34	岡野委員	【評価・所見】「限られた財源の中で」という文言は不要と思います。	○ 反映済み（削除）	施設担当
29	3 将来に向けた特色ある学校づくりのための推進 (1) 小中一貫教育の推進	35,36	岡野委員	【成果・課題】「…カリキュラムの深い理解…」の部分は、それによって何ができるようになったかを記載しませんか？例えば「…を深く理解することによって、小学校から中学校のカリキュラムのダブリと空白がなくなり…」みたいな文面にできませんか？	○ 反映済み（追加）	指導班
30	〃	35,36	岡野委員	【成果・課題】子どもたちのアンケートによって何がわかったかを記載できませんか？例えば、「アンケートによって期待と不安の両側面があることがわかった。その不安を払しょくのために中学生が小学校に出向いて、中学校の学校生活を紹介する活動へのつなげることができた」みたいな文面にしませんか？	○ 反映済み（追加）	指導班

No.	項目（重点施策・事業）	ページ数	意見者	意見内容	意見に対する対応	担当班
31	〃	35,36	藤原委員	ワーキンググループの研究など計画通りに推進されており「A」は妥当。 以下の数字の不整合の理由が知りたい。 本資料中の数字 小学生76.9% 中学生69.6%(令和4年度実績値) 令和5年度基本方針の数字 小学校 80.5%、中学校 69.6%(令和4年度実績値)	教育方針の数値が間違っていたため、76.9%に統一します。	指導班
32	〃	35,36	野谷委員	④郷土愛の育成についての記述がない。教育長が提案する「にのみや学」(小中総合のテーマ)についてもふれたい。(にのみやを知り働きかける)	○ 反映済み（追加）	指導班
33	3 将来に向けた特色 ある学校づくりのための検討 (2)コミュニティ・スクール運営の促進	37,38	藤原委員	学校運営協議会の活動が活性化している部分があるとすると放課後子ども教室という認識。その記載が後段にあるため記載できないとすると、それ以外の部分は各校ともに取り組みが進んでいる印象がないため「B」評価でも良いのではないかと。その停滞を感じる理由は「にのみや学園」の設立にCS一体化がついていないため。今年度中に議論して来年度は一体化すべき。放課後子ども教室の追記が難しいため「B」評価で良いのではないかと。	○ 反映済み（修正） ※「令和4年度に、令和5年度以降の学校運営協議会長情報交換会については、「にのみや学園」の学校運営協議会として位置付けて、情報交換会を実施する方針を確認した」とことから、一定の評価ができるかと判断した。	指導班
34	〃	37,38	岡野委員	【評価・所見】「学校運営の安定化」を具体的に書けませんか？「活気ある学校運営を継続させること」みたいな文言はどうかしら？	○ 反映済み（修正）	指導班
35	〃	37,38	岡野委員	【評価・所見】「…教育内容の充実…」を具体的に書けませんか？例えば「地域参画意識の向上」みたいな文言にしませんか？	○ 反映済み（修正）	指導班
36	6 学校教育に関する 情報発信の強化 (1)学校ホームページや町ホームページ、広報紙等の積極的な活用	39	岡野委員	【成果・課題】継続的な運用をどう支えていくのか？が課題。その具体策が見いだせていないことが課題であると感じます。「運営を工夫していく必要がある」部分を具体的に記載できませんか？具体的に書けないのであれば、具体策の目星がついていないこと自体が課題のように感じます。	HPを活用した情報発信については、校長会で毎回のようにより教育長から管理職に向けて学校現場で可能な範囲で工夫をしていただくよう伝えていきます。 HP立ち上げ以降、管理職を中心にHPの更新を行っていましたが、昨年度から山西小学校では、学年で更新したいものがあれば学年で考え更新するなど、少しずつ工夫されてきています。また、今年度は、マチコミメールから各学校のHPに繋がられるようリンクを貼るなどの工夫もしています。 学校現場では引き続き運営を工夫しているところですが、学校間での差があるため、点検評価では「引き続き運用を工夫していく必要がある」という表現に留めさせていただきます。	施設担当

No.	項目（重点施策・事業）	ページ数	意見者	意見内容	意見に対する対応	担当班
37	〃	39	藤原委員	アクセス数を指標にしているため、アクセス数減少により「B」評価とすることは妥当。一方でその原因分析が出来ていないと感じる。原因分析なき対策はアクセス数増加につながらない。コロナが落ち着いたことによる通知確認の必要性現象が原因だとすると、逆に昨年度の数字がイレギュラーとも考えられるため。 修正不要だが原因の再分析を望む	コロナ禍において、HP等を通じ情報を得ていた保護者も多かったと考えます。委員のおっしゃるとおり昨年度までの数字がイレギュラーの可能性も考えられるため、今後3年程度のアクセス数に注目し、原因分析に努めてまいります。	施設担当
38	〃	39	野谷委員	今後についても、教職員の過度な負担とならないことを踏まえながら、必要な情報については発信することを心掛け、 <u>外部委託も含めて検討する中で</u> 地域に開かれた学校運営の情報発信基盤としての安定運用につなげていきたい。	学校の現状を情報発信するために外部委託化することは、更なる現場負担の増に繋がる可能性も考えられます。今後も可能な範囲での情報発信に努めてまいりますので、修正なしとさせていただきます。	施設担当
39	〃	39	岡野委員	【評価・所見】第一段落が長いので二つに分けませんか？「…情報発信ができています。その一方で…」みたいに。	○ 反映済み（修正）	施設担当
40	1 地域文化の向上 (1)二宮の自然・歴史・文化・スポーツに触れる 機会の提供	40	藤原委員	数字が達成できていないための「B」評価は妥当。ただ、4200人は令和元年度の数字であり、コロナ後という意味でその数字を目指すのはハードルが高すぎる気がする（令和5年目標も、ではあるが）	修正不要	学習班
41	1 地域文化の向上 (2)図書館事業の推進	41	岡野委員	【成果】中学校図書委員とのオンラインによって何がわかったかを記載しませんか？例えば、「ティーンズ世代が望む（好む）書籍の特徴を把握することができた」みたいな文面はどうでしょうか？	○ 反映済み（修正）	図書館班

No.	項目（重点施策・事業）	ページ数	意見者	意見内容	意見に対する対応	担当班
42	〃	41	岡野委員	【評価・所見】「本のところに人が行く」の部分は、「本のところに人が行く」「人のところに本を持っていく」の両側面から施策を講じる」にしませんか？要は、本やメディアの稼働率を上げることと、サービス充実度を高めるための施策として、従来発想にとらわれない考え方で取り組んでいるというメッセージが伝わるように記載しませんか？もしかしたら、本の稼働率も評価指標になるかも知れませんね。	○ 反映済み（修正）	図書館班
43	〃	41	野谷委員	目標値に対して 年間貸出者数(人) R 3実績 75,058人(目標値の93.9%) R 4実績 80,121人(目標値の94.3%) を単純に比べることができない。貸出冊数の変更（5冊から8冊）があるからである。多く借りられる分、図書館に行く回数が減るのが一般的。貸出冊数も入れたらどうかと思う。来年度から？	令和5年度基本方針においては、図書館入館者数を指標の一つとしていますが、今後大規模改修も行う中で、全館での利用増にも繋げていきたいと考えています。	図書館班
44	〃	41	藤原委員	目標数値未達のため「B」評価は妥当。世の中の図書館が「来館者数」を目標値にし始めているように感じる。自習室の充実などによる来館者数増を目標にして、その達成を狙う方が図書館利用活性化につながる気がする。（10代は本は借りないかもしれないが、自習では使っているの） マーケティング的に考えると、自習室を図書館のフロアの奥の方に作り、その動線の途中で借りたくなりそうな本を並べておくことが貸し出し促進に効果的に思う。		図書館班
45	1 地域文化の向上 (3)社会教育事業の推進	42	岡野委員	【成果】「…多くの小学生が…」の部分は具体的に「延べ人数〇〇〇名」みたいに記載できませんか？毎回、100名以上だとすると年間だと数千名が参加していることとなります。ホームページアクセス数のようにインパクトのある数値になるものと思います。関わってくださった方々の励みにもなると思います。是非、お願いします。	○ 反映済み（修正）	学習班
46	〃	42	藤原委員	取り組みが進んでおり「A」評価は妥当。上の学校運営協議会とセットでの評価が適しているとは思う。	修正不要	学習班

No.	項目（重点施策・事業）	ページ数	意見者	意見内容	意見に対する対応	担当班
47	2 社会教育施設の適切な運営 (1) 各施設の適切な維持管理と運営	43	岡野委員	【成果・課題】①新庁舎・駅周辺公共施設再編を踏まえたラディアン、図書館のあり方検討に対する成果・評価が記載されていませんでした。	○反映済み（追加） ・①「(仮称)新庁舎・駅周辺公共施設再編計画」をふまえた、生涯学習センター「ラディアン」及び図書館のあり方の検討、の記載を追加。  ・評価・所見については、温水プールを廃止に向けて検討することも踏まえて、Bとしています。	生涯学習課
48	〃	43	岡野委員	【評価・所見】なぜ評価がBなのかな？と思いました。単に温水プールが長期休館になったからBと読み取れてしまいます。老朽化した現状を調査し、補修工事が必要であることを共有し、年間パスポートへの返金する対応を講じるなど、休館によって生じた影響について対応を進めて十分に対応してきています。それでもBならばそうしましょう。個人的には①が評価Bの要因であると感じました。		スポーツ班
49	〃	43	藤原委員	プールの件は予期できなかつたし、その後の対応は（廃止に向けて検討することも含めて）妥当と思う。しかし、目標は未達により「B」という評価は妥当。		スポーツ班
50	3 社会教育に関する情報発信の強化 (1)二宮町ホームページや広報紙等の積極的な活用	44	藤原委員	発信を目標にしているので「A」評価は妥当。ただ定性的な評価になっている点は改善の余地あり。令和5年度は新聞等掲載になっていて、この方が良い指標と思うが、一方で「どう報道されるか」「どう伝わるか」が計測されていない点は検討する必要があると思う。	SNSでの情報発信については、表示数や「いいね」で、ある程度効果を測ることができると考えていますが、新聞等紙媒体の効果は、各事業の結果（申込数や来場数など）に反映されるものと考えています。	生涯学習課

## 別紙1 教育委員会の活動状況 点検評価シート

項目	前年度（令和3年度） 実績・状況	当年度（令和4年度） 実績・達成状況
教育委員会議の実施状況	1 開催回数 12回 (定例会 12回) 2 議案件数 38件 3 請願件数 0件 4 傍聴 23名	1 開催回数 13回 (定例会 12回) (臨時会 1回) 2 議案件数 40件 3 請願件数 0件 4 傍聴 22名
成果・課題		評価・所見
<p>【成果】</p> <p>令和4年度二宮町教育委員会基本方針を念頭に置き、議案40件を審議した。定例会においては教育長報告、各所管課からの実績報告や事業予定により、事業の進捗状況と現状の課題を共有した。<u>教育的課題、生涯学習課題、行政課題など多岐にわたって現状の課題を共有するとともに、その施策について議論した。</u>資料を事前に送付し、<u>議題等の内容の把握や意見集約をするなど、効率的・効果的な審議や協議等に努めた。</u><u>また、音声機材の精度の向上を図るとともに、議事録作成支援システム等を活用し、議事録作成の迅速化をはかった。</u></p> <p>【課題】</p> <p>開かれた会議運営という点で、教育委員会の定例会議事録と会議資料をホームページに掲載して、町民への共有化を推進した。議事録作成支援システムを活用し、迅速な議事録作成の事務作業効率化を目指していく。</p> <p>二宮町の教育全般について、未来を担う子どもたちのために、町民の意思を的確に反映しつつ、執行機関としての役割を果たしていく。</p>		<p>A</p> <p>(前年度評価：A)</p> <p>教育委員会議定例会においては、<u>学力向上、ICT利活用などの授業力向上、不登校、支援級運営などの教育支援力向上、部活動外部移行、超過勤務などの多忙化解消など、課題の現状を共有化し、その解消策を議論した。</u>現状課題の共有とその対応は着実に講じることができたため評価はAとした。</p> <p>引き続き、教育委員会制度、法の趣旨に則り、適切に教育行政を運用するとともに、二宮町の教育界を次代へと導く役割を果たしていく。</p>



別紙1 教育委員会の活動状況 点検評価シート

項目	前年度（令和3年度） 実績・状況	当年度（令和4年度） 実績・達成状況
学校訪問等の活動	<p>1 学校訪問 町立小中学校 5 校訪問</p> <p>2 各種研修会等 関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会（5/28 書面開催） 令和3年神奈川県市町村教育委員会連合会第1回役員会及び総会（4/14 書面開催） 令和3年度神奈川県市町村教育委員会連合会第2回役員会（8/10 オンライン） 令和3年度市町村教育委員会オンライン協議会（9/2、12/23、2/10） 令和3年度神奈川県市町村教育委員会連合会研修会（10/21 オンライン）</p>	<p>1 学校訪問 町立小中学校 5 校訪問</p> <p>2 各種研修会等 関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会（5/27 書面開催） 令和4年神奈川県市町村教育委員会連合会第1回役員会及び総会（4/14 ZOOM） 令和4年神奈川県市町村教育委員会連合会研修会（11/18 茅ヶ崎市民文化会館） 令和4年度市町村教育委員会教育長・教育委員研究協議会（7/28、9/8 オンライン） 令和4年度市町村教育委員会研究協議会（11/10 前橋市民文化会館）</p>
<b>成果・課題</b>	<b>評価・所見</b>	
<p><b>【成果】</b> <u>先生方の授業の様子や子どもたちの反応、教室環境や学校施設を実際に視察することで、学校現場の現状課題を実感することができ、それを踏まえた議論を進めることができた。</u>また、研修会等に参加をし、<u>他の市町村の教育委員との交流を通じて、二宮町の現状を俯瞰することができた。二宮町が注目されるポイントと他から見習うべきポイントも把握することができた。</u>以上のような機会により教育委員としての資質向上につながり、定例会等でより良い議論や意見交換・提案等につながっている。<u>学校訪問時は事前に給食の試食をし、子どもたちが食べているものの質や量を確認している。</u></p> <p><b>【課題】</b> 学校訪問等を通じて学校現場を把握することについては時間が限られていることもあり、深く学校の状況を理解する機会や方法を考えていくことが課題である。</p>	<p style="text-align: center;"><b>A</b></p> <p style="text-align: right;">（前年度評価：A）</p> <p>学校訪問等により、地域交流の課題や特別教室の利活用の現状をはじめ、教育現場の状況を確認するとともに、顕在化した学校運営の課題発掘とその解消策を見出す活動を推進した。引き続き、研修会等に参加をすることで視野を広げ、教育行政全般に関する諸課題についてさらなる改善を図るとともに学校訪問については、より学校の実情の把握に努める。</p>	

## 第2章 教育委員会における主要事業

### 1 教育総務課の主要事業

#### ●学校教育の重点施策

重点施策			頁	
1 児童・生徒の「生きる力」の育成	(1) 自ら学ぶ力を養うための教育の推進	①言語活動の充実を基盤とした学び合いの促進	28 29	
		②英語教育を通じたコミュニケーション能力の育成		
		③ICT環境を活用した学びの充実		
		④道徳教育ならびに特別活動の充実		
		⑤学校体育の充実		
2 すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備	(1) 支援が必要な児童生徒への対応の充実	①いじめ、不登校、ひきこもり、ヤングケアラー等に対する体制の強化	30	
		②インクルーシブ教育・支援教育の充実		
	(2) 教職員の働き方改革の推進	①働く場としての環境整備	32	
		②部活動改革に向けた方向性の整理		
		③ 外部人材と外部情報の効果的な活用		
	(3) 教職員の指導力の向上	①「教職員授業力向上研究事業」の推進	33	
		②教育研究所における研修の充実		
	(4) 児童生徒の学習環境の整備	①長寿命化計画に基づく学校施設等の計画的な改修	34	
	3 将来に向けた特色ある学校づくりの推進	(1) 小中一貫教育の推進	①施設分離型小中一貫教育の開始に向けた取り組みの推進	35 36
			②小中一貫教育カリキュラム研究の推進	
③かながわ学びづくり推進地域研究委託事業「9年間を見通した共通性と一貫性のある指導・支援を通じた『学びに向かう力』の醸成と資質・能力を育む指導のあり方」の実施				
④郷土愛の育成				
(2) コミュニティ・スクール運営の促進		①学校運営協議会の円滑な運営のための支援	36	
		②地域との連携による児童生徒の活動の促進	37	
5 学校教育に関する情報発信の強化	(1) 学校ホームページや町ホームページ、広報紙等の積極的な活用	38		

## 2 生涯学習課の主要事業

### ●社会教育の重点施策

重点施策		頁		
1 地域文化の向上	(1) 二宮の自然・歴史・文化・スポーツに触れる機会の提供	①文化芸術の振興・支援	39	
		②スポーツの振興・支援		
		③学習機会の整備・提供		
	(2) 図書館事業の推進	① 子育て世代と子どもたちの利用の促進	40	
		② 図書館資料の充実と利用しやすい環境づくり		
		③ 町の歴史や文化、ゆかりの人物に関する情報と資料の収集活用		
	(3) 社会教育事業の推進	①コミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動の推進	41	
		②人権教育の推進		
		③青少年の健全育成		
		④社会教育関係団体との連携		
	2 社会教育施設の適切な管理運営	(1) 各施設の適切な維持管理と運営	①「(仮称)新庁舎・駅周辺公共施設再編計画」をふまえた、生涯学習センター「ラディアン」及び図書館のあり方の検討	42
			② 受益者負担の在り方の検討	
③安全・安心のための施設の維持管理				
3 社会教育に関する情報発信の強化	(1) 二宮町ホームページや広報誌の積極的な活用	43		

## 3 教育委員会の活動状況 点検評価

※「別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート」に記載（次ページ以降）

別紙2 教育委員会事務局の活動状況 点検評価シート

項目 (重点施策・事業)	前年度(令和3年度) 実績・状況		当年度(令和4年度) 実績・達成状況	
<p><b>重点施策</b></p> <p>1 児童・生徒の「生きる力」の育成 (1)自ら学ぶ力を養うための教育の推進</p> <p>①言語活動の充実を基盤とした学び合いの促進</p> <p>②英語教育を通じたコミュニケーション能力の育成</p> <p>③ICT環境を活用した学びの充実</p> <p>④道徳教育ならびに特別活動の充実</p> <p>⑤学校体育の充実</p> <p>(教育総務課 指導班)</p>	<p><b>【行政評価の成果指標】</b></p> <p>①なし</p> <p>②中学校卒業時における英検3級の取得率</p> <p>③週1回以上授業でICTを使用したか</p> <p><b>【目指すべき目標】</b></p> <p>①全国学状:話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じているかに肯定的な回答の割合、小学校75%、中学校75%</p> <p>⇒結果:小学校78% 中学校81%</p> <p>②英検3級取得率50%</p> <p>⇒結果:42.6%</p> <p>③ICT利用率100%</p> <p>⇒結果:小学校23%中学校68% (令和3年5月27日時点)</p> <p><b>【実績・達成状況】</b></p> <p>①令和3年度は全ての小中学校が6つの手立てを用いた話し合い活動を中心とした授業づくりに取り組んだ。小中学校ともに昨年度よりも数値が向上した。</p> <p>②英検3級の取得率が昨年度よりも向上したが、目標値までは達成できていない。</p> <p>③GIGAスクール構想に基づく児童生徒1人1台の環境が整い、できるところからではあるが、授業等で活用ができた。情報教育担当者会でICT機器の活用の好事例や課題について共有した。</p>		<p><b>【行政評価の成果指標】</b></p> <p>①なし</p> <p>②中学校卒業時における英検3級の取得率</p> <p>③週1回以上授業でICTを使用したか</p> <p><b>【目指すべき目標】</b></p> <p>①全国学状:話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じているかに肯定的な回答の割合、小学校75%、中学校75%</p> <p>⇒結果:小学校80.5% 中学校87.1%</p> <p>②卒業時の英検3級の取得率50%</p> <p>⇒結果:18.1%</p> <p>③ICT利用率100%</p> <p>⇒結果:小学校89.7%中学校96.4% (全国学力学習状況調査より)</p> <p><b>【実績・達成状況】</b></p> <p>①令和3年度から引き続き全ての小中学校が6つの手立てを用いた話し合い活動を中心とした授業づくりに取り組んだ。手立ても定着してきており小中学校ともに昨年度よりも数値が向上した。</p> <p>②英検3級の取得率が昨年度よりも低下し、目標値までは達成できていない。</p> <p>③GIGAスクール構想に基づく児童生徒1人1台の環境が整い、授業等で活用ができた。情報教育担当者会でICT機器の活用の好事例や課題について共有した。</p>	
	現計予算額(円)	決算額(円)	現計予算額(円)	決算額(円)
	66,267,000	66,145,294	66,750,000	66,203,853

成果・課題	評価・所見
<p><b>【成果】</b></p> <p>①全小中学校が受容的かつ共感的な学級づくりをベースにした学び合い・話し合いの授業づくりに取り組んだ。小学校から継続して取り組むことで中学校でもその効果が見られるようになってきた。</p> <p>②<u>英語検定3級の受検料については高額ではあるが、二宮町英語検定奨励金の制度を活用することで、生徒が3級の取得に向けての後押しとなった。</u></p> <p>③児童生徒1人1台の環境が整い、小中ともに授業におけるICTを積極的に活用してきた。また、様々な理由により自宅で過ごす子どもたちがICTを活用して授業に参加できるよう環境を整えることができた。</p> <p>④<u>ICT利活用を推進する中で道徳との連携の観点から5校共通の情報モラル教材を新規に導入し、学校だけでなく、自宅でも取り組むことができるようにした。</u></p> <p>⑤<u>高学年の児童が苦手意識を感じていた器械体操をテーマに小中学校の先生が協働で授業研究に取り組み、楽しさや達成感を体感できる授業を推進できた。</u></p> <p><b>【課題】</b></p> <p>①引き続きすべての教職員が受容的かつ共感的な学級づくりをベースにした誰一人取り残されない全員参加の授業づくりに共通性と一貫性をもって取り組んでいく必要がある。特に、習得の授業においても研究を進めていく必要がある。</p> <p>②<u>英検3級以上の取得率が前年度比で24.5%低下した。コロナウイルスへの感染症予防のため、話す活動が制限されたことなど英語を学ぶことの楽しさを実感する機会が減った。そのため、英語を学ぶ意欲が低下したと考えられ、今後は、英語を学ぶことの楽しさを実感できる授業を展開していきたい。</u></p> <p>③育てたい資質・能力や授業のねらいを踏まえたICTの活用についてこれまで以上に意識していく必要がある。そのためには、育てたい資質・能力（情報活用能力）を明らかにし、系統性のある情報活用能力（情報モラル含む）の指導について研究を進めていく必要がある。<u>また、ハード面として、端末の整備更新による予算や安定的な運用を行うための人材確保なども併せて検討する必要がある。</u></p> <p>⑤<u>体力向上と水難に対する自己防衛の視点が必要である。</u></p>	<p><b>B</b></p> <p style="text-align: right;">(前年度評価：B)</p> <p>①全小中学校が受容的かつ共感的な学級づくりをベースにした学び合い・話し合いの授業に取り組んだ。引き続き、全員参加の授業の意義と手法について学び、手応えを感じる実践を着実に積み重ねていきたい。また、小学校で形成された話し合い活動を、中学校でよりよいものにしていきたい。</p> <p>②英語教育研修会等を通じて、ALT、担任、専科それぞれがもつ強みを生かしながら、指導力向上に努めると共に、子どもたちが話したくなる、聞きたくなる外国語の授業づくりに継続して取り組んでいく。また、英語検定奨励金制度を活用した受検の促しを引き続き行っていく。</p> <p>③GIGAスクール構想の実現に向けて、ICTを活用した授業実践を積み重ねていくとともに、情報活用能力（情報モラル含む）の育成に向けた系統的な指導の在り方について研究していきたい。</p> <p>学校現場と教育委員会が一体となった取り組みにより、それぞれの成果指標が向上しているが、目標値に対して充分とは言えないことや改善の余地があるので評価Bとした。</p>

項目 (重点施策・事業)	前年度（令和3年度） 実績・状況	当年度（令和4年度） 実績・達成状況		
<p><b>重点施策</b></p> <p>2 すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備 (1) 支援が必要な児童生徒への対応の充実</p> <p>① いじめ、不登校、ひきこもり、ヤングケアラー等に対する体制の強化</p> <p>② インクルーシブ教育・支援教育の充実 (教育総務課 指導班)</p>	<p><b>【行政評価の成果指標】</b></p> <p>① 相談援助職の稼働日数/月：心理・SC (<u>スクールカウンセラー</u>) 20、SSW (<u>スクールソーシャルワーカー</u>) 14、年間相談件数 1510 件</p> <p>② 支援教育補助員の人数 24 人</p> <p><b>【目指すべき目標】</b></p> <p>① 不登校率小学校：1%、中学校：4%</p> <p>② 支援教育補助員 24 名 S S W 2 名</p> <p><b>【実績・達成状況】</b></p> <p>① 小学校 R3：1.5%、中学校 R3：6.2%</p> <p>② 多様化する教育的ニーズに対応するには、今後も人材の確保と育成が必要である。継続的に研修の機会を設け、インクルーシブ教育を推進するための職員の資質能力の向上が必要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>支援教育補助員人数 5 校合計 24 名</li> <li>日本語指導員人数 4 校のべ 6 名</li> </ul>	<p><b>【行政評価の成果指標】</b></p> <p>① 相談援助職の稼働日数/月：心理・SC20、SSW14、年間相談件数 1388 件</p> <p>② 支援教育補助員の人数 24 人</p> <p><b>【目指すべき目標】</b></p> <p>① 不登校率小学校：1%、中学校：4%</p> <p>② 支援教育補助員 24 名、S S W 2 名</p> <p><b>【実績・達成状況】</b></p> <p>① 小学校 R4：2.7%、中学校 R4：8.8%</p> <p>② インクルーシブ教育の推進にあたり、引き続き各学校へ補助員等を配置し多様化する支援について対応を必要とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>支援教育補助員人数 5 校のべ 27 名</li> <li>日本語指導員人数 5 校のべ 9 名</li> <li>SSW 人数 3 名</li> <li>心理教育相談員人数 2 名</li> </ul>		
<p>現計予算額 (円)</p> <p>30,045,000</p>		<p>決算額 (円)</p> <p>28,516,577</p>	<p>現計予算額 (円)</p> <p>32,479,616</p>	<p>決算額 (円)</p> <p>31,105,028</p>
<p><b>成果・課題</b></p>		<p><b>評価・所見</b></p>		
<p><b>【成果】</b></p> <p>① 不登校支援における選択肢の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>校内の居場所の充実を図り、児童及び保護者支援を実施した。</li> <li>放課後登校、別室登校など一人ひとりの実態に応じて柔軟に対応した。</li> <li>自宅や教育支援室からオンラインで授業に参加できるようにし、学習機会の保障に努めた。</li> <li>教育支援室と民間フリースクールとの連携事業を複数回実施できた。</li> <li>民間フリースクール等とのネットワーク会議を立ち上げ、関係機関との連携強化を図ることができた。</li> <li>ヤングケアラー等の早期発見のための調査を開始した。学校の中で継続的に実施していくため、<u>調査結果の校内共有・支援、子育て・福祉部門等との連携などの一連のシステムを整えることができた。</u></li> </ul> <p>② 教員、支援教育補助員、SSW 及び心理教育相談員が連携することで、困難・課題を抱えた児童生徒の支援の充実を図れた。日本語指導員により、児童生徒への指導の他、保護者との円滑な連携にもつながった。</p>		<p><b>B</b></p> <p>(前年度評価：B)</p> <p>① 引き続き、校内教育支援体制、関係機関との連携の強化を図り、効果的な支援方法を研究工夫していく。<u>また、不登校の児童生徒またはその保護者との良好な関係づくりやそれぞれに合った学習機会の保障に努めていきたい。</u></p> <p>② 支援教育及びインクルーシブ教育を推進していくためには、人材の確保と育成が必要である。今後も研修の機会を設け、職員の資質能力の向上を図っていききたい。また、校内の状況に合わせた支援教育補助員の配置基準についても研究し、共に学び、共に育つ教育環境づくりに努めていきたい。</p> <p>引き続き取り組む課題は数多くあるが、学校等でのきめ</p>		

<p>ている。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p><u>①不登校児童生徒数は増加傾向にあり、引き続き、教育支援体制の充実を図る必要がある。特に、校内に心理士等を配置し、職員との連携を強化し、未然防止、早期発見、早期対応につなげていきたい。</u></p> <p><u>②多様な教育ニーズをもつ子どもたち及びその保護者を支援していくための場づくりを学校内外において進めていく必要がある。</u></p> <p><u>③子どもたちの多様な教育的ニーズに対応するために、心理士や心理教育相談員など多様な人材を確保する必要がある。</u></p> <p><u>④外国につながるのある児童生徒の支援について、人材の確保が課題となっている。関係機関との連携を図りながら、人材の確保に努めていきたい。</u></p>	<p>細かい対応は評価する。</p>
--	--------------------

項目 (重点施策・事業)	前年度（令和3年度） 実績・状況	当年度（令和4年度） 実績・達成状況		
<p><b>重点施策</b></p> <p>2 すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備</p> <p>(2) 教職員の働き方改革の推進</p> <p>①働く場としての環境整備</p> <p>②部活動改革に向けた方向性の整理</p> <p>③外部人材と外部情報の効果的な活用</p> <p>(教育総務課 教育総務班・指導班)</p>	<p><b>【行政評価の成果指標】</b></p> <p>教職員の時間外勤務の平均値 (h/月)</p> <p>R 3 見込 39.2</p> <p><b>【目指すべき目標】</b></p> <p>時間外勤務時間を1か月で45時間、1年で360時間を越えないことを最低限の目標とする。</p> <p><b>【実績・達成状況】</b></p> <p>○学校間ネットワークを更新する際に勤怠管理システムを導入し、より実態に即した勤怠管理をすることができるようになった。</p> <p>○令和3年度から冬季学校閉庁日を設定した。</p> <p>○二宮町立学校に係る部活動の方針に則り、適切な休養日及び活動時間を設定した。</p>	<p><b>【行政評価の成果指標】</b></p> <p>教職員の時間外勤務の平均値 (h/月)</p> <p>R 4 見込 30.0</p> <p><b>【目指すべき目標】</b></p> <p>時間外勤務時間を1か月で45時間、1年で360時間を越えないことを最低限の目標とする。</p> <p><b>【実績・達成状況】</b></p> <p>○勤怠管理システムにより、実態に即した勤怠管理をすることができるようになった。</p> <p>○引き続き、夏季及び冬季学校閉庁日を設定した。</p> <p>○二宮町立学校に係る部活動の方針に則り、適切な休養日及び活動時間を設定した。</p> <p>○部活動の地域移行について、スポーツ協会代表及び生涯学習課と国の動向を情報共有するとともに、次年度以降に向けて具体的な検証方法を検討した。</p>		
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	18,217,000	17,645,457	23,431,000	23,430,852



成果・課題	評価・所見
<p><b>【成果】</b>  令和4年度の教職員の時間外勤務の状況  小学校平均 32.4 (h/月) 393.0 (h/年)  中学校平均 63.2 (h/月) 749.4 (h/年)  全校平均 44.3 (h/月) 535.4 (h/年)</p> <p><b>【課題】</b>  勤務実態を正確に把握するため、勤怠管理システムにより、時間外勤務を可視化し、意識啓発を行ってきたが、コロナ禍における感染症対策等以外にも、教員が行う業務は慢性的に増加傾向にあり、目指すべき目標の年間時間外勤務である360時間を大幅に超えている。特に中学校については、部活動など休日勤務も多く、小学校と比較すると時間外勤務が非常に多い。  引き続き、教職員が担うべき業務に専念できる環境の整備と支援体制の強化に努めていく必要がある。また、引き続き、国及び県に対して、教職員の定数の改善を始め、スクールサポートスタッフ等の配置を要望していく必要がある。</p>	<p style="text-align: center;">B</p> <p style="text-align: right;">(前年度評価：B)</p> <p>学校閉庁日（夏季・冬季）の設定、校務支援システムを活用した事務の効率化、勤怠管理システムによる職員の意識啓発などの改善はしているものの、根本的な改善にはつながっていないため、評価はBとした。</p> <p>職場体制の強化として、根本的な解決策につながる教職員の定数改善等は引き続き国・県に対し要望していく。特に中学校は小学校に対して超過時間が多いため、休日の部活動の地域移行などの方策も検討を進める。</p>



項目 (重点施策・事業)	前年度（令和3年度） 実績・状況	当年度（令和4年度） 実績・達成状況		
<b>重点施策</b> 2 すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備  (3) 教職員の指導力の向上 ①「教職員授業力向上研修事業」の推進 ② 教育研究所における研修の充実  (教育総務課 指導班)	<b>【行政評価の成果指標】</b> なし  <b>【目指すべき目標】</b> ①全国学状：話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じているかに肯定的な回答の割合、小学校75%、中学校75% ②教職員の指導力向上  <b>【実績・達成状況】</b> ①全国学状：話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じているかに肯定的な回答の割合 ⇒結果：小学校78% 中学校81% ②教育研究所に非常勤の指導員を配置し、新採用や臨時的任用等の若手教員の指導を行った。また、ICT活用指導力向上研修や読み書きが苦手な児童生徒への支援・指導に関する研修を行った。	<b>【行政評価の成果指標】</b> なし  <b>【目指すべき目標】</b> ①全国学状：話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じているかに肯定的な回答の割合、小学校75%、中学校75% ②教職員の指導力向上  <b>【実績・達成状況】</b> ①全国学状：話し合う活動を通して自分の考えの広がり、深まりを感じているかに肯定的な回答の割合 ⇒結果：小学校81% 中学校87% ②教育研究所指導員に代わり、指導主事が新採用や臨時的任用等の若手教員の指導を行った。また、ICT活用指導力向上研修やヤングケアラーに関する研修等を行った。		
	<b>現計予算額（円）</b> 1,699,000	<b>決算額（円）</b> 1,685,921	<b>現計予算額（円）</b> 290,000	<b>決算額（円）</b> 256,588
	<b>成果・課題</b>		<b>評価・所見</b>	
<b>【成果】</b> ①受容的かつ共感的な学級づくりをベースにした学び合い・話し合いの授業づくりに継続して取り組むことで、中学校でも生徒同士が主体的に話し合いながら合意形成を図る姿が見られるようになった。 ②授業だけでなく、学級経営等の悩みや課題に対して助言を行うようにしたことで、授業力向上だけでなく、保護者対応等、学級経営力の向上にもつながられた。また、研修を通じて、ヤングケアラーに対する理解を深めるとともに、福祉部局と連携し、支援につなげていくためのシステムを構築した。  <b>【課題】</b> ①授業力向上ために他校や他学級に参観しやすい仕組みづくりが必要である。また、活用の授業だけでなく、習得の授業における授業改善についても研究していく必要がある。 ②若手教員の増加による、教職員の指導力向上は喫緊の課題である。		<b>A</b>  (前年度評価：A)  ① <u>中学校でも生徒同士が主体的かつ対話的に授業が進められる場面が増え、授業を通じて考えに広がりを感じ深まりを感じる生徒の割合が高まった。</u> ② <u>若手教員が増加しているため、授業参観だけでなく、学級経営に関する助言等を実施していきたい。また、教育研究所主催の研修については、今後も学校現場の声や今日的課題を踏まえた研修計画を立てていきたい。</u>  以上のことから評価をAとした。		

項目 (重点施策・事業)	前年度（令和3年度） 実績・状況		当年度（令和4年度） 実績・達成状況	
<b>重点施策</b> 2 すべての児童生徒が安心して学べる教育環境の整備  (4) 児童生徒の学習環境の整備 ① 長寿命化計画に基づく学校施設等の計画的な改修  (教育総務課 教育総務班)	<b>【行政評価の成果指標】</b> なし  <b>【目指すべき目標】</b> 令和2年度に実施した学校施設等現況調査委託の結果を踏まえた長寿命化計画（個別施設管理計画）に基づき、学校施設及び学校給食センターの計画的な改修を進める。  <b>【実績・達成状況】</b> 長寿命化計画（個別施設管理計画）に基づき、安全上、速やかに対処しなければならない箇所について、一部を修繕・工事を実施することができた。また、令和4年度も引き続き修繕及び工事するための予算措置をすることができた。		<b>【行政評価の成果指標】</b> なし  <b>【目指すべき目標】</b> 令和2年度に実施した学校施設等現況調査委託の結果を踏まえた長寿命化計画（個別施設管理計画）に基づき、学校施設及び学校給食センターの計画的な改修を進める。  <b>【実績・達成状況】</b> 長寿命化計画（個別施設管理計画）に基づき、安全上、速やかに対処しなければならない箇所について、一部を修繕・工事を実施することができた。また、令和5年度も引き続き修繕及び工事するための予算措置をすることができた。	
	現計予算額（円）	決算額（円）	現計予算額（円）	決算額（円）
	29,755,000	29,714,005	83,681,000	83,676,874
<b>成果・課題</b>		<b>評価・所見</b>		
<b>【成果】</b> 長寿命化計画（個別施設管理計画）に基づき、予算措置した学校施設の修繕料及び工事費を全て執行することができた。また、令和5年度も引き続き修繕及び工事するための予算措置をすることができた。  <b>【課題】</b> <u>町の中でも大規模な学校施設を適切に維持管理していくため、安全面からみた予防的な修繕の優先度を上げざるを得なかった。また、マンパワーもそこに注力せざるを得なかった。</u>		<b>A</b>  <b>（前年度評価：A）</b> 長寿命化計画（個別施設管理計画）に基づき、大きなトラブルもなく各工事等を完了し、次年度への予算措置へつなげられたことから評価をAとした。 一方、対前年度で予算を比較すると大幅に増額している。また、令和5年度も令和4年度と同様な予算規模となっているため、今後も効果的に実施していくために、緊急性や必要性を精査しながら実施していく必要がある。		

項目 (重点施策・事業)	前年度（令和3年度） 実績・状況		当年度（令和4年度） 実績・達成状況	
<p><b>重点施策</b></p> <p>3 将来に向けた特色ある学校づくりのための推進</p> <p>(1) 小中一貫教育の推進</p> <p>① 施設分離型小中一貫教育の開始に向けた取り組みの推進</p> <p>② 小中一貫教育カリキュラム研究の推進</p> <p>③ かながわ学びづくり推進地域研究委託事業「9年間を見通した共通性と一貫性のある指導・支援を通じた『学びに向かう力』の醸成と資質・能力を育む指導のあり方」の実施</p> <p>④ 郷土愛の育成</p> <p>(教育総務課 指導班)</p>	<p>【行政評価の成果指標】</p> <p>全国学状：将来に夢や目標を持っている児童生徒の割合 75.6%</p> <p>【目指すべき目標】</p> <p>全国学状：将来に夢や目標を持っている児童生徒の割合 75.6%</p> <p>【実績・達成状況】</p> <p>全国学状：将来に夢や目標を持っている児童生徒の割合 72.2%</p> <p>① 二宮町小中一貫教育推進計画案を作成し、教育委員会議で検討を行った。</p> <p>② 各ワーキンググループで苦手な単元の洗い出し等を行い、教科の特性に合わせた小中一貫した指導方法について研究を行った。</p> <p>③ 令和3年度は全ての小中学校が6つの手立てを用いた話し合い活動を中心とした授業づくりに取り組んだ。小5～中3対象にアンケート調査を実施。</p>		<p>【行政評価の成果指標】</p> <p>全国学状：将来に夢や目標を持っている児童生徒の割合 75.6%</p> <p>【目指すべき目標】</p> <p>全国学状：将来に夢や目標を持っている児童生徒の割合 75.6%</p> <p>【実績・達成状況】</p> <p>全国学状：将来に夢や目標を持っている小学生 76.9% 中学生 69.6%</p> <p>① 準備委員会を立ち上げ、学園の開校に向けて準備を進めた。</p> <p>② 施設一体型小中一貫教育校設置研究会を立ち上げ、将来的な一体校設置に向けての議論を開始した。</p> <p>③ ワーキンググループごとに研究授業を実施し、実践を通して指導力の向上、カリキュラムの深い理解につながった。</p> <p>④ 全ての小中学校が6つの手立てを用いた話し合い活動を中心とした授業づくりに取り組んだ。中学でも手応えを感じる実践が見られるようになり、小学校からの積み重ねの重要性を共有した。</p> <p>⑤ <u>中学生3年生では、二宮町役場企画調整課の職員を招いて町の施策を学んだ後に生徒一人ひとりが地域提言のプレゼンを実施した。また、二宮町をテーマにした探求学習に活用できる資料「この学のための情報のタネ」を作成した。</u></p> <p>⑥ <u>郷土愛の育成に関連して、社会科副読本のデジタル化に着手し、子どもたちがこれまで以上に地域学習に主体的に取り組めるようにした。</u></p>	
	現計予算額 (円)	決算額 (円)	現計予算額 (円)	決算額 (円)
	3,268,000	3,196,828	3,014,000	2,701,328

成果・課題	評価・所見
<p><b>【成果】</b></p> <p>①小中一貫教育目標や学園名の策定、児童生徒や保護者等へ周知する映像資料やリーフレットの作成など令和5年度の開校に向けて着実に準備を進めることができた。</p> <p>②各ワーキンググループにおいて研究授業を実施した。9年間の系統性を深く理解することで、それぞれの校種及び教科の授業改善にもつながった。</p> <p>③施設分離型小中一貫教育として町全体で取り組んでいく内容を決めるにあたり、子ども向けアンケート調査を実施し、<u>進学に伴う期待や不安の両側面があることがわかった。</u>子どもたちの声や現場の意見をもとに、<u>不安を解消するために、中学生が小学生に学校生活を伝える機会を設けたとともに、次年度以降にも活動を充実させるための</u>事業計画（プロジェクト）を策定した。また、子どもたちや教職員が負担なく小中一貫教育に取り組めるようにも配慮した。</p> <p>④二宮町をテーマにした探求学習に活用できる資料「<u>この学のための情報のタネ</u>」（デジタル版）を作成した。</p> <p>⑤社会科副読本をデジタル化することに方針決定した。<u>動画教材やクイズなど楽しんで取り組めるコンテンツを多く取り入れることで自分から進んで学べるような教材づくりに着手した。</u></p> <p><b>【課題】</b></p> <p>①ワーキンググループでの研究を進めるにあたり、教員の働き方改革を踏まえ、過度な負担をかけない、バランスの取れた研究を進める必要がある。</p> <p>②二宮町をテーマにした探究的な学習の9年間の流れについてワーキンググループでさらに研究を深めていく必要がある。</p>	<p style="text-align: center;">A</p> <p style="text-align: right;">（前年度評価：A）</p> <p>①準備委員会を立ち上げて施設分離型小中一貫教育校の開校に向けて着実に準備を進めることができた。分離型での取り組み内容を保護者や地域住民に周知していく。</p> <p>②教科グループごとに研究授業を実施した。来年度も研究授業等を実施してカリキュラム研究を進める。また、子どもたち同士の交流も進め、小中一貫教育を推進する。</p> <p>③受容的・共感的な学級づくりをベースとした全員参加の授業づくりに継続的に取り組むことで、一人ひとりの自尊感情を高め、自信をもって自分の考えを相手に伝えられる子どもを育てていきたい。</p> <p>以上の取り組みからA評価とした。</p>

項目 (重点施策・事業)	前年度（令和3年度） 実績・状況		当年度（令和4年度） 実績・達成状況	
<p><b>重点施策</b></p> <p>3 将来に向けた特色ある学校づくりのための検討</p> <p>(2) コミュニティ・スクール運営の促進</p> <p>① 学校運営協議会の円滑な運営のための支援</p> <p>② 地域との連携による児童生徒の活動の促進</p> <p>(教育総務課 指導班)</p>	<p>【行政評価の成果指標】</p> <p>各校の学校運営協議会の開催回数4回</p> <p>【目指すべき目標】</p> <p>各校の学校運営協議会の開催回数4回</p> <p>【実績・達成状況】</p> <p>各校の学校運営協議会の開催回数3.8回</p> <p>各小学校、中学校において学習協力者、体育・文化活動指導員等による地域教育力を活用し、授業を実施した。</p> <p>地域の協力を得て、葛川探検や生き物観察、収穫体験を行うなど、地域の魅力を直接体感できる機会を持った。</p> <p>総合的な学習で、地域の一員として生徒が地域の課題を把握し、解決方法を地域に提言する学習を実施した。</p> <p>コロナで保護者や地域の方の来校が制限された分、HPの内容を充実させるなど、地域への情報発信に努めた。</p>		<p>【行政評価の成果指標】</p> <p>各校の学校運営協議会の開催回数4回</p> <p>【目指すべき目標】</p> <p>各校の学校運営協議会の開催回数4回</p> <p>【実績・達成状況】</p> <p>各校の学校運営協議会の開催回数4回</p> <p>各小学校、中学校において学習協力者、体育・文化活動指導員等による地域教育力を活用し、授業を実施した。</p> <p>地域の協力を得て、木工体験や楽器演奏体験、生き物観察、キャリア教育を行うなど、地域の魅力を直接体感できる機会を持った。</p> <p>総合的な学習で、地域の一員として生徒が地域の課題を把握し、解決方法を地域に提言する学習を実施した。</p> <p>コロナで保護者や地域の方の来校が制限された分、HPの内容を充実させるなど、地域への情報発信に努めた。</p>	
<p>決算額（円）</p> <p>2,958,000</p>	<p>現計予算額（円）</p> <p>2,453,199</p>	<p>決算額（円）</p> <p>3,014,000</p>	<p>現計予算額（円）</p> <p>2,701,328</p>	
<p>成果・課題</p>		<p>評価・所見</p>		
<p>【成果】</p> <p>前年度に引き続きコロナで活動が制限されたものの、できることを最大限に行えるよう工夫を凝らすなど、5校ともに着実に学校に応じた取組が行えた。また、これまでの取組を経て、学校、地域の役割が少しずつ整理できたとともに、地域学校協働活動推進員のコーディネートにより、学校と地域の連携がさらに円滑なものとなった。<u>また、学校運営協議会長情報交換会の中で各校が把握する地域人材やニーズについて情報共有し、令和5年度以降の同会については、「にのみや学園」の学校運営協議会として位置付けて、情報交換会を実施する方針を確認した。</u></p> <p>【課題】</p> <p>令和5年度より施設分離型小中一貫教育校である「にのみや学園」が開校することから、学園内の学校間および児童生徒同士の交流を図るに当たり、持続可能な活動が行えるよう、引き続き</p>		<p>A</p> <p>(前年度評価：A)</p> <p>各校の特色を生かした取組を行うことができている。また、コロナ禍においても、可能な範囲で地域における児童生徒の活動の促進を進めることができたことから、評価をAとした。</p> <p>学校と地域との連携強化を図るためにも、コミュニティ・スクールの取組を保護者や地域の方に情報共有し互いの信頼関係を高め、<u>活気ある学校運営を継続させることや地域参画意識の向上を図るなど、教育内容の充実につなげていきたい。</u></p>		

活動内容や手法を模索する必要がある。また、教職員の多忙化解消の意味も含めて、学校職員、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員の役割を整理し、関係者が皆当事者意識をもち、引き続き連携の強化を図っていく。

項目 (重点施策・事業)	前年度（令和3年度） 実績・状況		当年度（令和4年度） 実績・達成状況	
<b>重点施策</b> 6 学校教育に関する 情報発信の強化 (1) 学校ホームページや町ホームページ、広報紙等の積極的な活用  (教育総務課)	<b>【行政評価の成果指標】</b> なし <b>【目指すべき目標】</b> 5校合計での学校ホームページアクセス回数、月平均3万回。 <b>【実績達成状況】</b> 令和2年4月より学校ホームページを開設。令和3年4月から令和4年3月末までの1年間のアクセス件数は、約28万件で月平均約2万3千件。  町広報紙等紙媒体の活用 ・7月号 小中一貫教育 ・11月号 ICT活用教育 ・その他の月にコロナ対策等も掲載		<b>【行政評価の成果指標】</b> なし <b>【目指すべき目標】</b> 5校合計での学校ホームページアクセス回数、月平均3万回。 <b>【実績達成状況】</b> 令和2年4月より学校ホームページを開設。令和4年6月から令和5年5月末までの1年間のアクセス件数は、約13万件で月平均約1万1千件。  町広報紙等紙媒体の活用 ・8月号 学校給食 ・1月号 小中一貫教育 ・2月号 小中一貫教育 ・3月号 小中一貫教育	
	現計予算額（円）	決算額（円）	現計予算額（円）	決算額（円）
	-	-	-	-
<b>成果・課題</b>			<b>評価・所見</b>	
<b>【成果】</b> ホームページを活用し、児童生徒、保護者への情報発信、学習課題、日々の様子のお知らせなど、有効に活用することができた。また、令和5年度から分離型小中一貫教育校が開設されることから、保護者や地域への理解を深めるため、町広報紙にも3か月連続して記事を掲載した。学校ホームページについて、令和5年5月時点の5校合計アクセス件数は約73万件で、令和2年4月に開設して以降、一定のアクセス件数があり、地域に開かれた学校の情報発信をすることができている。 <b>【課題】</b> 学校に対しての関心の高さが伺える一方で、日々の更新作業を学校の教職員が行っており、その更新業務が過度な負担とならないよう引き続き運用を工夫していく必要がある。			<b>B</b>  (前年度評価：A)  学校での日々の様子や、リアルタイムな情報を保護者、地域に随時発信できるメリットを生かし、地域に開かれた学校の情報発信をすることができている。一方で、令和3年度月平均約2万3千件だったアクセス件数が令和4年度は約1万1千件となり、目指すべき目標数は達成できていない。掲載される情報や内容は充実してきているものの、アクセス回数については、下降していることから、B評価とした。  今後についても、教職員の過度な負担とならないことを踏まえながら、必要な情報については発信することを心掛け、地域に開かれた学校運営の情報発信基盤としての安定運用につなげていきたい。	

項目 (重点施策・事業)	前年度（令和3年度） 実績・状況		当年度（令和4年度） 実績・達成状況	
<b>重点施策</b> 1 地域文化の向上 (1) 二宮の自然・歴史・文化・スポーツに触れる機会の提供 ①文化芸術の振興・支援 ②スポーツの振興・支援 ③学習機会の整備・提供  (生涯学習課 生涯学習班・図書館班)	<b>【行政評価の成果指標】</b> 文化祭来場者数 4,200人 ピアノマラソンコンサート 160人 民俗芸能のつどい観覧者数 350人  <b>【目指すべき目標】</b> 町民が主体となった文化事業の展開と、文化拠点としてラディアン及び図書館の効果的な運営に取り組む。  <b>【実績・達成状況】</b> ・第64回文化祭 ※感染症拡大防止のため中止 ・ピアノマラソンコンサート 出演者 56人 来場者 174人 ・第47回民俗芸能のつどい ※感染症拡大防止のため中止 ・ラディアン20周年記念事業4事業のうち、2事業(「ガラ・コンサート」「やまゆり音楽祭」)を実施		<b>【行政評価の成果指標】</b> 文化祭来場者数 4,200人 ピアノマラソンコンサート 160人 民俗芸能のつどい観覧者数 350人  <b>【目指すべき目標】</b> 町民が主体となった文化事業の展開と、文化拠点としてラディアン及び図書館の効果的な運営に取り組む。  <b>【実績・達成状況】</b> ・第65回文化祭 2,687人 ・ピアノマラソンコンサート 出演者 76人 来場者 154人 ・第48回民俗芸能のつどい 332人 ・町民体育祭 中止 ・スポーツフェスティバル開催への協力 来場者 750人	
	現計予算額(円)	決算額(円)	現計予算額(円)	決算額(円)
	508,000	247,550	312,000	290,243
<b>成果・課題</b>		<b>評価・所見</b>		
<b>【成果】</b> 文化活動の発表の場となる各事業については、新型コロナウイルス感染症による中止期間を経てもなお、多くの参加者・来場者があり、町民の関心の高さが伺われた。 また、町立小中学校を中心とした子ども達の作品展を、昨年度に引き続き、ふたみ記念館と図書館で開催した。 町民体育祭については、令和4年度も中止となったが、町スポーツ協会による「スポーツフェスティバル」の開催に協力し、町民がスポーツに触れる機会の創出に取り組んだ。  <b>【課題】</b> 3年連続中止となっている町民体育祭については、令和5年度は休止とし、地区役員の負担などの課題を踏まえた事業の方向性を検討する。		<b>B</b>  (前年度評価：B) 各事業について、成果指標の目標を達成出来なかったため、評価をBとした。 今後においては、幅広い分野・世代の参加を促すとともに、「スポーツフェスティバル」のように町民や地域が主体となった生涯学習・スポーツ活動や、そのきっかけづくりに各種団体と連携しながら取り組む。		



項目 (重点施策・事業)	前年度（令和3年度） 実績・状況	当年度（令和4年度） 実績・達成状況		
<b>重点施策</b> 1 地域文化の向上 (2) 図書館事業の推進 ① 子育て世代と子どもたちの利用の促進 ② 図書館資料の充実と利用しやすい環境づくり ③ 町の歴史や文化、ゆかりの人物に関する情報と資料の収集活用  (生涯学習課 図書館班)	<b>【行政評価の成果指標】</b> 年間貸出者数(人) R3見込 80,000人  <b>【目指すべき目標】</b> 感染症の影響を受けていない、平成30年度貸出者数85,394人程度への回復を当面の目標とする。  <b>【実績・達成状況】</b> 年間貸出者数(人) R3実績 75,058人 (目標値の93.9%)  <参考> 開館日 257日(計画287日) 特設カウンター 28日	<b>【行政評価の成果指標】</b> 年間貸出者数(人) R4見込 85,000人  <b>【目指すべき目標】</b> 感染症の影響を受けていない、平成30年度貸出者数85,394人程度への回復を当面の目標とする。  <b>【実績・達成状況】</b> 年間貸出者数(人) R4実績 80,121人 (目標値の94.3%)  <参考> 開館日 285日(計画286日)		
	<b>現計予算額(円)</b>	<b>決算額(円)</b>	<b>現計予算額(円)</b>	<b>決算額(円)</b>
	18,478,000	18,161,757	18,148,000	17,999,392
<b>成果・課題</b>	<b>評価・所見</b>			
<b>【成果】</b> 前年度に引き続き、感染症流行下におけるリスク低減とともに、サービス向上を図るため、次のように取り組んだ。 ① 親子向け事業は、安心して参加できるよう事前申込制で実施した。また、新たな取組として、ティーンズ世代のニーズ把握のため、町立中学校図書委員とのオンライン意見交換会を実施し、 <u>読書の傾向を直接聞くことが出来た。</u> ② より多くの貸出を望む利用者のニーズに対応するため、図書館規則を改正し、図書・雑誌の貸出冊数の変更(5冊から8冊)を本格実施した。 ③ 行政資料及び二宮ゆかりの人物関連資料の収集・整理を行った。「図書館だより」では、ゆかりの人物 金原左門を紹介した。  <b>【課題】</b> 10~20代の図書館利用が少ないことから、ニーズを把握し、継続的な利用に繋げていく必要がある。	<b>B</b>  (前年度評価：A)  放課後子ども教室への資料の貸出や、貸出冊数の変更など、利用に繋がる取り組みを進めたが、成果指標の目標を達成出来なかったため、評価をBとした。 今後においては、引き続き資料の充実と利用しやすい環境づくりに努めつつ、中高生との意見交換や職場体験等を通じて、利用の少ない世代のニーズ把握と利用促進に取り組む。 また、今後も「人のところに本を持っていく」「 <u>本のところに人が行く</u> 」の両側面から施策を講じ、子どもたちや若い世代が本と接する機会が増えるようなきっかけ作りを行う。			

項目 (重点施策・事業)	前年度（令和3年度） 実績・状況		当年度（令和4年度） 実績・達成状況	
<b>重点施策</b> 1 地域文化の向上 (3) 社会教育事業の推進 ①コミュニティ・スクールと連携した地域学校協働活動の推進 ②人権教育の推進 ③青少年の健全育成 ④社会教育関係団体との連携 (生涯学習課 生涯学習班)	<b>【行政評価の成果指標】</b> 放課後子ども教室の登録率 16.5% <b>【目指すべき目標】</b> 地域住民や関係団体が主体となった児童の安心・安全な居場所づくりを行うことで、将来地域を担う子どもの育成を図る。 <b>【実績・達成状況】</b> 二宮小 登録者 163人 在校生 662人 24.6% 一色小 登録者 46人 在校生 167人 27.5% 山西小 登録者 124人 在校生 343人 36.2%		<b>【行政評価の成果指標】</b> 放課後子ども教室の登録率 16.5% <b>【目指すべき目標】</b> 地域住民や関係団体が主体となった児童の安心・安全な居場所づくりを行うことで、将来地域を担う子どもの育成を図る。 <b>【実績・達成状況】</b> 二宮小 登録者 210人 在校生 677人 31.0% 一色小 登録者 64人 在校生 167人 38.3% 山西小 登録者 156人 在校生 336人 46.4%	
	現計予算額（円）	決算額（円）	現計予算額（円）	決算額（円）
	1,386,000	788,492	1,892,000	1,557,113
<b>成果・課題</b>		<b>評価・所見</b>		
<b>【成果】</b> 昨年度に引き続き、小学校3校の放課後子ども教室は、地域学校協働活動推進員を中心に特色ある取り組みが行われ、 <u>3校合計で、のべ2,873人</u> の小学生が参加した。 また、初めての試みとして、小学校の夏季休業中に放課後子ども教室を開催した。 中学校においても地域学校協働活動推進員による取り組みにより、地域と学校の、連携や協力が進んだ。 <b>【課題】</b> 各校の取り組みが充実し、小中学校間や小学校同士、中学校同士が連携した事業実施などが本格化することが予想される。事業が安全かつスムーズに開催されるよう、支援や協力に取り組んでいく必要がある。		<b>A</b> (前年度評価：A) 成果指標の目標を達成したため、評価をAとした。 各校とも、地域学校協働活動推進員を中心にした取り組みが充実しつつあり、より多くの地域や関係者の参画が期待される。 引き続き、地域や学校と連携して事業に取り組む。		

項目 (重点施策・事業)	前年度（令和3年度） 実績・状況		当年度（令和4年度） 実績・達成状況	
<b>重点施策</b> 2 社会教育施設の適切な運営 (1) 各施設の適切な維持管理と運営 ①「(仮称)新庁舎・駅周辺公共施設再編計画」をふまえた、生涯学習センター「ラディアン」及び図書館のあり方の検討 ② 受益者負担の在り方の検討 ③安全・安心のための施設の維持管理  (生涯学習課 生涯学習班)	<b>【行政評価の成果指標】</b> なし  <b>【目指すべき目標】</b> 専門家の意見を取り入れ策定した長寿命化に基づき改修を進め、施設を安全かつ効率・効果的に維持していく。  <b>【実績達成状況】</b>		<b>【行政評価の成果指標】</b> なし  <b>【目指すべき目標】</b> 専門家の意見を取り入れ策定した長寿命化計画に基づき改修を進め、施設を安全かつ効率・効果的に維持していく。  <b>【実績達成状況】</b> ・社会教育・体育施設における受益者負担の見直しを実施。 ・施設改修工事の実施	
	現計予算額（円）	決算額（円）	現計予算額（円）	決算額（円）
	89,088,000	87,931,438	89,571,000	82,849,421
<b>成果・課題</b>		<b>評価・所見</b>		
<b>【成果】</b> <u>生涯学習センター「ラディアン」及び図書館のあり方の検討については、令和5年度の基本設計に向けて関係課との情報共有に努めた。</u>  施設利用における受益者負担の在り方については、障害のある方への減免拡充とともに、町外利用者に応分の負担をお願いする見直しを進めた。  施設については、令和3年度に実施した現況調査をもとに、町立体育館の外壁修繕を実施するとともに、キュービクル（受変電設備）の更新を行い、長寿命化改修を進めた。  <b>【課題】</b> <u>基本設計にあたっては、利用ニーズの把握も含め、より良い改修になるよう取り組む必要がある。</u>  施設の維持管理については、計画的な改修とあわせて、利用者の安全かつ快適な利用の確保に繋がる修繕を適時に進める必要がある。  また、施設の老朽化が進むとともに、入場者が減少している温水プールについては、天井材落下により休館している。		<b>B</b>  (前年度評価：A)  施設の維持管理と運営に努めたが、温水プールが天井材落下により長期休館となっており、結果として施設の適切な運営が行えていないことから、評価をBとした。  引き続き、安全・安心を第一として日常の維持管理に努めるとともに、生涯学習センター「ラディアン」及び図書館の大規模改修にあたっては、安全性と利便性の両立・向上に繋がる検討を進める。		

項目 (重点施策・事業)	前年度（令和3年度） 実績・状況	当年度（令和4年度） 実績・達成状況		
<b>重点施策</b> 3 社会教育に関する情報発信の強化 (1) 二宮町ホームページや広報紙等の積極的な活用 (生涯学習課)	<b>【行政評価の成果指標】</b> なし  <b>【目指すべき目標】</b> 町で所有する情報発信ツールを積極的に活用し各種事業等の情報発信を推進する。  <b>【実績・達成状況】</b> 電子媒体の活用 ・ホームページの活用 ・町フェイスブックの活用 ・図書館ツイッターの活用 ・ラディアン催し物のお知らせ 広報紙等紙媒体の活用 ・図書館だよりの発行 ・広報紙掲載 ・身近な余暇ガイドの更新 報道機関への情報提供 ・記者発表の活用	<b>【行政評価の成果指標】</b> なし  <b>【目指すべき目標】</b> 町で所有する情報発信ツールを積極的に活用し各種事業等の情報発信を推進する。  <b>【実績・達成状況】</b> 電子媒体の活用 ・ホームページの活用 ・町フェイスブックの活用 ・図書館ツイッターの活用 ・ラディアン催し物のお知らせ 広報紙等紙媒体の活用 ・図書館だよりの発行 ・広報紙掲載 ・身近な余暇ガイドの更新 報道機関への情報提供 ・記者発表の活用		
	現計予算額（円）	決算額（円）	現計予算額（円）	決算額（円）
	-	-	-	-
<b>成果・課題</b>	<b>評価・所見</b>			
<b>【成果】</b> ホームページや広報紙を通じ、随時各事業や施設案内等の情報発信を行った。 令和4年度においても地元タウン誌や新聞への掲載が町民や近隣住民へのPRとなり、特に、ふたみ記念館については首都圏域放送のテレビ番組に取り上げられ、知名度の向上に繋がった。 <b>【課題】</b> 情報発信は、事業効果を高めるために欠かすことが出来ないことから、継続的かつ効果的な情報発信に取り組む必要がある。	<div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">A</div> <div style="text-align: right;">（前年度評価：A）</div> 令和4年度において、より広く事業を周知できたため、評価をAとした。 引き続き、電子媒体や紙媒体など、それぞれの特性を活かした情報発信に取り組む。			

## 令和6年 二宮町 20歳のつどい開催要項

### 1. 目的

成人の日にあたり、新たに20歳となった人の成長を祝うとともに、成人としての社会的責任を改めて自覚してもらうことを目的とする。

### 2. 主催

(式典) 二宮町・二宮町教育委員会

(20歳のつどい実行委員会企画事業) 二宮町教育委員会・20歳のつどい実行委員会

### 3. 日時

令和6年1月8日(月・祝)

(式典) 11時00分～11時30分

(20歳のつどい実行委員会企画事業) 11時35分～13時00分

### 4. 会場

二宮町生涯学習センター「ラディアン」 ホール

### 5. 対象者

平成15年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた人

・町外在住の方も参加可(事前に生涯学習課へ申込み)

※町広報及びホームページにて周知を行います。

### 6. 日程

(1) 式典 司会：20歳のつどい実行委員

・主賓あいさつ(二宮町長／二宮町教育長)

・来賓あいさつ(二宮町議会議長／県議会議員)

・20歳の決意

・お礼のことば

(2) 20歳のつどい実行委員会企画事業 司会：20歳のつどい実行委員

### 7. 協力

二宮町青少年指導員連絡協議会



## 令和5年度 8月教育委員会議定例会予定

- 1 日 時 令和5年8月24日（木）13時00分から
- 2 場 所 二宮町町民センター 2Aクラブ室
- 3 付議事項
- 4 報告・協議事項

### ※主な行事

- |          |        |                   |
|----------|--------|-------------------|
| 8月 5日（土） | 13時00分 | ガラスのうさぎ像平和と友情のつどい |
| 8月24日（木） | 10時00分 | 総合教育会議            |
|          | 13時00分 | 教育委員会議            |
| 9月29日（金） | 9時30分  | 9月教育委員会議定例会       |
|          | 13時00分 | 学校訪問（二宮小学校）       |